

第6回 宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成31年3月19日(火) 14時~15時

2. 開催場所 中央生涯学習センター303【3階】

3. 出席者 委員総数：7名 うち出席委員：5名

(1) 出席委員 長島 俊夫、阿部 訓久、畠山 悟、
岩井 俊宗、大木 雄一郎

(2) 放送事業者側 稲葉 克明、中村 長司、益子 早苗

4. 議題

(1) 番組の説明・試聴、意見交換

(2) その他

(3) 次回の開催日程

5. 議事内容

(1) 番組の説明・試聴、意見交換

①審議番組「ミヤラジ環境番組」(ゲスト出演：環境・エコに関する活動する団体など)

提供 ミヤラジオリジナル番組

放送日 毎週水曜日 13:00~13:54

番組内容 環境省が推進する「COOL CHOICE」の啓発を目的とする番組。「エコ」「クールビズ」「もったいない」などをテーマに毎週ゲストを迎える。

審議対象回 平成31年2月27日(火)放送分

宇都宮市 環境部 環境政策課 職員が出演。3/2、3/3 茂原クリーンパークで開催の「エコまつり」と、もったいない運動を紹介。

(審議員) 日頃から「環境」を考える番組として、もっとアピールしてもよい。

(審議員) 環境をテーマにすると、一年を通して番組構成がいろいろ考えられる。

(審議員) 「残しま10(テン)運動」は良い取り組み。アピールを続けてほしい。

(審議員) 行政担当者が出演して説明するのは、話としてはわかりやすい。イベントに来てほしいというアピールをもっとすべき。

(審議員) 選曲について理由を聞くなどすると会話の広がりも出る。

(審議員) BGMのレベルが、聞き心地がいい感じに調整されている。

(審議員) ナビゲーターの相づち(「ハイ」「エエ」)が多く耳障り。本人のクセでもあると思うが、自己満足的な感じも受ける。

(審議員) ゲストとのやりとりに労力を使っている感じで、リスナーの巻き込みまでは至っていない。クイズ形式なども取り入れて、参加型、コミュニティ放送ならではの(近い)エリアを生かした番組作りもできるのでは。

(事業者) パーソナリティは、自分の放送を聞く機会がない。他のパーソナリティと

指摘しあうようにしたい。

②審議番組「地元もりあげ隊」(出演：宇都宮で地域活動などを行う方をゲストに招く)

提 供 ミヤラジオリジナル番組

放送日 毎週土曜日 17:00～17:54

番組内 容宇都宮や地域を盛り上げたい市民の皆様や、人と人、地域と地域のつながりや広がりをお届けしています。

審議対象回 平成31年3月2日(土)放送分

宮っ子シニア健康脳トレ歌の会(認知症防止活動) 飯田様ご夫妻出演。

(審議員) BGMが小さく、聴き取りにくい。

(審議員) 出演した団体の目標がわかりにくい。参加人数(18名)が多いのか少ないのかもわからない。普段どんな活動をしているのか紹介するとよかった。

(審議員) MCから緊張をほぐす一言があったのは良かった。

(審議員) どういう団体なのか、わかりにくかった。いろいろな団体を取り上げて紹介するのは良い。

(審議員) 「認知症」の年齢比率や男女比率なども示せるとよかった。

(審議員) 最初に団体の活動の紹介をしてから、ゲスト紹介したほうが、展開がスムーズでわかりやすい。市の助成金の話は最初から言わなくても良い。

(審議員) どこでやっているか、誰がやっているか、など、一言二言で説明したうえで、最後に連絡先を伝えるとよい。

(審議員) ミヤラジのホームページでも紹介してはどうか。「どんな成果があったか」を「見せて」紹介するのもよい。

(2) その他

審議員より以下の質問があり、事業者より回答をした。

(質問) 「放送後記」のような、制作者側の話が聞ける機会があると面白い。制作者ならではの情報も色々あるのでは。

(回答) ミヤラジマガジンにエピソードなどを掲載して、内容を濃いものにしたい。

(3) 次回の開催日程

次回開催は、平成31年5月21日(火)14時とする。会場は追って通知する。

6. 審議会の公表方法

- ・放送で公表する
- ・書面を当社事務所内に備える
- ・ホームページに掲載する

以 上